

コンクリートの亀裂監視

アイペック 無人管理システム

【富山】アイペック（富山市、吉岡裕一社長、076・438・0808）は、橋などに使

われているコンクリートのひび割れ状況を無人で監視する管理システム「コンクリートモニター」を10月に発売する。亀裂が入った部分にセンサーを設置し、設定した時間にひ

び割れのデータを送信する。価格は1号40万円から。年販30号を目指す。亀裂の状況を10分（マイクロは100万分の1）単位で測定できる。測定したデータは携帯電話の電波を使って自動的に松栄電子研究所

（愛知県豊明市）のデータ管理センターに送信される仕組み。ユーザーはパソコンで同センターにアクセスして、加工されたデータを見て監視する。

従来、橋や道路のコンクリートのひび割れの測定は作業員が現地に出向いて行っていた。このシステムを導入すれば現地に行く必要がなくなり、人件費や管理コストの低減につながるという。同社ではゼネコンや地方自治体などに売り込む考え。